



白銀のひかりを掲げる新井野会長と遠藤市長

News+

新嘗祭への献穀に 市産の白銀のひかり

毎年11月23日に宮中で行われる新嘗祭に、白銀のひかり栽培研究会の新井野勉会長が育てた同米1.5*^{kg}が献穀されました。新嘗祭はその年の収穫に感謝し、天皇陛下が新穀を奉納して翌年の豊作を祈願する伝統行事です。新井野会長は10月21日に皇居を訪問し、米を奉納。28日に市役所を訪れ、市長へ報告しました。新井野会長は「白銀のひかりは大粒で食べ応えがあります。新嘗祭への献穀は農家としてまたとない名誉。いい経験になりました」と目を細めました。

News+

おいしく、楽しく、 減塩を学ぶ1日

11月8日、減塩フェスタin久慈が元気の泉で開催されました。本市は脳血管疾患などの死亡率が高く、減塩を自分ごととして捉えてもらうための普及啓発を進めています。会場では減塩の味噌汁の試飲や野菜摂取量の測定、減塩の弁当販売のほか、血圧を下げる必要性をテーマとした特別講演を実施。ピザトースト3*^枚に含まれる塩分量の測定に挑戦した成田晃彦さんは「見た目より多く驚きました。今後も塩分に気をつけたいです」と抱負を語りました。



塩分量を予想する来場者

年末年始のごみ収集

INFO

闊生活環境課 ☎54-8003

日程	ごみ収集			ごみ処理施設への直接搬入※
	燃えるごみ	燃えないごみ	資源物	
27日(土)~28日(日)	×	×	×	×
29日(月)	通常通り収集及び長久保地区	×	×	○
30日(火)	通常通り収集	×	×	×
31日(水)		×	×	
1日(木)~4日(日)	×	×	×	×
5日(月)	通常通り収集	通常通り収集及び下記の地区 半崎、大渡、小倉、滝の沢、長坂、馬寄、北の越、田子沢、地京沢、中田、町、日向、山屋敷、和野、北野、桑畑、白前、外屋敷、堀切、保土沢、本町、本波、向町、麦生、横沼	通常通り収集	○
6日(火)		通常通り収集及び下記の地区 川崎町、滝、山根地区全域		

※直接搬入の受付時間は、8時30分~12時、13時~16時30分

年末年始のごみ収集は左表の通りです。いつもと異なる曜日で収集する地区があります。左表以外は通常通り収集します。12月29日(月)を除く、12月27日(土)から令和8年1月4日(日)まで、ごみ焼却場と粗大ごみ処理場へ直接ごみを持ち込むことができません。ご注意ください。

統合に向けて児童・生徒が交流

NEWS

久慈中学校統合校交流学年レク、長内中学校区交流授業



4人5脚で肩を組んで走る生徒ら

令和8年度の中学校の統合を見据えた交流事業が、各校で行われています。久慈中学校では10月30日と11月4日、統合する久慈、大川目、夏井、侍浜中学校1、2年生の交流レクが行われました。4日は4校の1年生約150人が参加。久慈中学校の生徒が進行を務め、2人組でポールを運びリレーや複数人で足を結び肩を組んで走るなど、交流を深めました。交流レクの後は部活動体験も行われ、生徒が久慈中学校の部活動に参加しました。侍浜中学校1年生の本波篤史さんは「生徒の雰囲気明るくて、一緒に活動して楽しかったです。統合を楽しみにしています。」

11月12日は、長内小学校で2回目の長内中学校区の交流授業が行われました。長内、小久慈、久喜、小袖小学校の6年生70人が参加し、グループに分かれて活動。体を動かすレクリエーションや合唱、モルックで、進学後に一緒に学ぶ仲間と楽しく交流しました。小袖小学校の中目涼平さんは「みんなで楽しく活動できました。他の小学校のみんなの名前も新しく覚えることができましたので良かったです」と充実した表情をみせました。



モルックを楽しむ児童

山形町の文化と食をめぐるモニターツアーを開催

NEWS

観光庁地域観光魅力向上事業モニターツアー



闘牛を間近で見学する参加者

11月8、9日、山形村短角牛活性化推進協議会が、首都圏在住の親子を対象とした1泊2日のモニターツアーを行いました。観光庁の補助を受け、食育や地域文化への理解につなげるツアーづくりを目的に実施。東京農業大学稲花小学校に通う親子4組が参加し、短角牛の育成や平庭闘牛、塩の道といった山形町の文化を体験しました。

初日は勢子による解説を聞きながらの闘牛観戦や平庭高原の散策を楽しみ、短角牛の赤身肉バーベキューを堪能。翌日は短角牛の餌やりやべご汁づくりなどに挑戦しました。参加した同校6年生の森大和さんは「闘牛を初めて見ました。大きな牛が目の前でぶつかり合う音が力強さに圧倒されました」と驚いていました。



べご汁づくりに取り組む児童

作って味わう郷土料理

NEWS

食の匠による小学生への郷土料理伝承会



そばを切り分ける児童

11月10日、久慈地方農業農村活性化推進協議会が大川目小学校で郷土料理の伝承会を開催。6年生11人が、食の匠からアイスクリームと手打ち

そばの作り方を学びました。そば作りは成谷自然の会の岩脇ヨシエ代表が講師を担当。冠婚葬祭で必ず作られていることや豆腐をつなぎにする昔ながらの作り方を説明しました。児童らは地元産のそば粉で生地作りや製麺に挑戦。ゆでたてのそばを味わいました。関上紀莉愛さんは「初めてそばを作って大変さが分かりました。いつものそばと違い、コシがあつてちぎれにくく、味もおいしかったです」と笑みを浮かべました。

個性豊かな恐竜の絵

NEWS

久慈市夏休み恐竜・地質絵画コンテスト

夏休み恐竜・地質絵画コンテストを開催し、市内の幼児・小学生から230点の応募がありました。11月17日に久慈湊小学校で表彰式を開催。小学校高学年の部で銀賞を受賞した5年生の梶谷真さん、同じく銅賞の6年生齊藤聖さん、小学校低学年の部で銅賞の2年生小向颯さんに賞状が手渡されました。齊藤さんは「琥珀とジェットが有名なので、目立つように描きました」と語りました。作品は12月14日まで久慈琥



右から小向さん、梶谷さん、齊藤さん

琥珀博物館、16日から令和8年1月12日までよむのすに展示されます。